

“住む”のが楽しい。居心地のいい街 住まう

便利なのにゆったりした雰囲気
「何でもそろっていて生活しやすい街です」



会社員
掛川剛史さん

「都内や海外などさまざまな場所で仕事をしてきた妻は、宇都宮＝田舎、というマイナスイメージがあったんです。実際に住んでみて、生活しやすく、いい場所だと言っていました。妻は

GOOD PLACE!!
UTSUNOMIYA

都市機能が充実していて住みやすい街。少し足を伸ばすと自然もあって、仕事も趣味も楽しめる街です。

バワフルな人が多くて毎日刺激を受けています



1 宇都宮の中心市街地に住む掛川さんの自宅。インテリアが好きだという掛川さんの好みも随所に散りばめられている。補助制度のおかげで引っ越し費用や家具の購入など、経済面で非常に助かったそう。2 ここで家族と愛犬「トッティ」とともに暮らしている。



CASE STUDY 03



利用した制度

中心市街地における若年夫婦・子育て世帯家賃補助制度

中心市街地にある民間賃貸住宅へ転居した夫婦どちらも満40歳未満の若年夫婦世帯または義務教育終了前の子どもとその親がいる世帯に対して、実質家賃額の2分の1（上限2万円、最長36か月）の家賃を補助。

中心市街地における住宅取得補助制度

中心市街地区域内において新たに住宅を取得し、転居する世帯に対し、住宅取得費用の一部を助成。

宇都宮市建設部住宅課 住宅計画グループ
☎ 028-632-2552 ☎ 028-639-0614

高

これまで宇都宮で暮らし、東京への大学進学で宇都宮を離れた掛川さん。就職を機に宇都宮へ戻ってきた。「永住」を考えたとき、改めて宇都宮の良さがわかりました。便利なのにせわしくない。キャンパスが好きなので、自然が近いのも魅力でした」

車を運転しないので、近くに買い物ができる場所もあり、バスの停留所や駅も近くて都心へのアクセスもいい。便利なのに、ご近所ともほどよい交流がある。人とのつながりを感じるのも住まう上では大切なポイントですね」



CASE STUDY 02

「1人じゃない」が感じられる温かい街
「人と人を絆でつないで和が広がる場所にしたい」



ギャラリー経営
トーマスあす子さん

中

心市街地からほど近くにありながら、街の喧騒も感じさせない静かな住宅街の一角。アニメ映画監督の宮崎駿氏が幼少期を過ごした家として話題となったこともある築80年の古民家が佇む。この住まいの一角で、トーマスあす子さんは「ギャラリーHANNA〜絆和〜」を営んでいる。

「この家との出逢いはまったくの偶然だった。「古い家に住みたいね」と漠然と主人と話していたんです。たまたま宇都宮の知人から紹介されたのがこの家でした」ちょうど務めていたギャラリーを辞め、次に何をしようか迷っていた時だった。「家主さんから文化的に活用して欲しいという要望があった」やるだけやってみよう、そんな気持ちでギャラリーをオープンした。

GOOD PLACE!!
UTSUNOMIYA

何気ない日常生活が楽しいことこそが宇都宮の魅力。気さくな人が多くて住みやすいのが何よりいいところです。



毎日の生活が楽しいことが宇都宮の最大の魅力



CHECK!!

ギャラリー HANNA ~絆和~
宇都宮市役所近くにある、築80年の古民家で多彩な美しい手しごとに触れられるギャラリー。
宇都宮市松が 2-7-17
☎ 028-638-6123 <http://galleryhanna.com/>

1 自宅の一角をギャラリーとして開放。開放的な古き良き日本家屋にさまざまな作品が展示される。2 「仕事のときは和装が多い」というトーマスさん。縁側で庭を眺めながらゆったりとした時間を過ごす。3 雰囲気が異なる小部屋にも作品を展示。4 庭から望む自宅外観。街中にありながら喧騒から離れ、静かな時間が流れていく。5 ギャラリー入口。藍色の暖簾が開廊の目印。